

第3学年 特別の教科 道徳 学習指導案

【主題名】 はたらく人の思いについて考えよう 【内容項目】 勤労<C- (13)>

【教材名】 「リクエスト食」を支える 著：青山ゆみこ

【ねらい】 ゲスト（委託給食提供企業の方）を交えて、はたらく人の思いを考える活動を通して、「仕事」として求められていること（やらなければいけないこと）と「思いやり」としてやれること（やった方がいいこと）について話し合いを深め、理想と現実の差に気付くとともに、自分なりの職業観や勤労に対する意識を育てる。

【「考え、議論する」道徳を実現させるための手だて】

仕事を行う上で大切にしていることや、仕事に対する思いに対して、多面的・多角的な考えに触れながら、自分なりの職業観や勤労に対する前向きな意識をもてるように、ゲストと一緒に考えたり、理想と現実の差に対して問い返し、思考を揺さぶったりしていく。

【本時の学習の流れ】

時	段階	生徒の学習活動	具体的な手だて
4	導入	1 リクエスト給食で何を希望したいか。 ・お寿司 ・焼き肉 ・シャインマスカット	1 授業後半で、提供される側と提供する側の立場の違いを意識できるように、素直な発言を促す。
		2 ゲストを紹介する。 ・株式会社魚国総本社部長：元山様 ・管理栄養士：直井様 ・店長兼調理師：黒川様	2 地域、資料との関連性を認識できるように、近隣の老人介護施設に食事を提供している企業の方々であることを説明する。
6	めあて	はたらく人の思いについて考えよう。	
7		3 『リクエスト食』を支える』の内容を整理する。 ・管理栄養士の大谷さんと調理師の高藤さんの話。 ・大谷さんが患者さんから聞き取った献立を、高藤さんが材料手配から調理まで行う。	3 管理栄養士の大谷さんと、調理師の高藤さんの仕事内容を簡潔に把握するため、資料を掲示する。
10	展開1	大谷さんと高藤さんが、「リクエスト食」に取り組むときに、大切にしていることは何だろう。	
10	展開1	4 大谷さんと高藤さんが、仕事において大切にしていることを考える。 ・患者さんとのコミュニケーション。 ・少しでも喜んでもらいたいという気持ち。 ・異物混入や食中毒が起こらないように、衛生面に気をつける。	4 多面的な考えができるように、発問についてゲストにも話を振っていく。
22	展開2	二人が思いをもって仕事に取り組めるのはなぜなのだろう。	
22	展開2	5 大谷さんと高藤さんの思いについて話し合う。 ・患者さんの喜んでいる表情や「ありがとう」の言葉がやる気になっていると思う。 ・誰かのためだけでなく、自分のやりがいもある。	5 多角的な考えができるように、発問についてゲストにも話を振っていく。 5 多角的な考えができるように、導入時に発表したリクエスト給食の希望内容について改めて考える機会を設定する。
40	まとめ	はたらくときに、大事にしたいことは何だろう。	
40	まとめ	6 振り返りを書き、ゲストの説話を聞く。	6 授業で考えたことを振り返られるように、自分なりの考えを書くように促し、数名発表の場を設ける。 6 提供する側の思いを感じられるように、ゲストからも話をしてもらおう。

【板書計画】

10/18 「リクエスト食」を支える はたらく人の思いについて考えよう

○リクエスト給食希望

- ・お寿司
- ・焼き肉
- ・シャインマスカット

「リクエスト食」に取り組むときに、大切にしていることは何だろう

大谷さん
の
写真

- ・管理栄養士
- ・患者さんからリクエスト食の献立を聞き取る

思
い
や
り

- ・患者さんとのコミュニケーション
- ・患者さんの喜んでいる表情、「ありがとう」→やる気
- ・誰かのため+自分のやりがい

仕
事

高藤さん
の
写真

- ・調理師
- ・大谷さんから聞いた献立に沿って調理をする

- ・異物混入や食中毒が起こらないように、衛生面に気をつける。
- ・きちんと希望のメニューを聞き取る

【ゲストの発言タイミングと質問内容、解答の方向】

① 展開1 発問後

「リクエスト食のような取組をされていますか？」(部長：元山様へ)

→はい →いいえ

「このような取組についてどう思われますか？」 (//)

② 展開1 生徒発表後

「大谷さんの考えや仕事内容についてどう思われますか？」(管理栄養士：直井様へ)

→共感の有無、理想と現実の差

「高藤さんの考えや仕事内容についてどう思われますか？」(調理師：黒川様へ)

→共感の有無、理想と現実の差

③ 展開2 生徒発表後

「このお話のようなリクエスト食を実施することは可能ですか？」(直井様・黒川様へ)

→実施の可否、実施に関する困難さ、理想と現実の差

④ 授業終末

「最後に一言お願いします」(元山様へ)

→仕事をする中で大事にしていること、これから大事にしてほしいこと